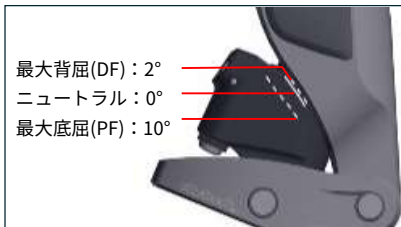


1C59 タレオアダプト クイックスタート

装着準備

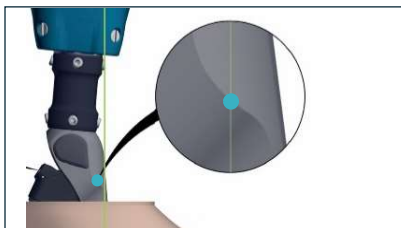
ニュートラルにあわせませ
ヒールウェッジは黒(ハード)
を取付けます



ヒント：ベンチアライメント
において、ニュートラル位を保
つために、底背屈のバルブ
は最大値にします



ヒント：足部のアライメント
マークにシールなど目印を
貼ると見やすくなります

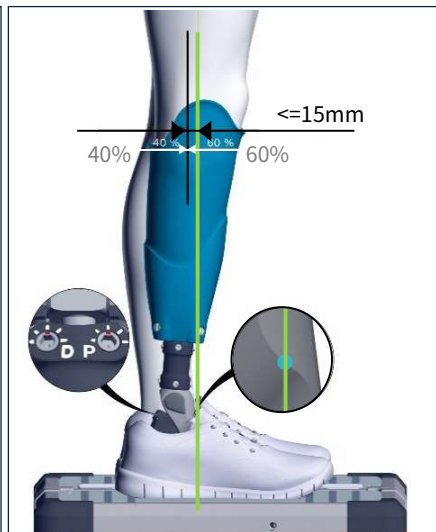


ベンチアライメント



- ・フットシェルのアライメントマーク (矢状面)は無視します
- ・追加の差高は加えません

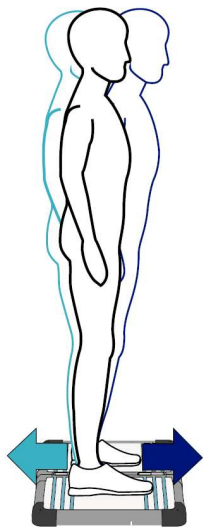
スタティックアライメント - LASARポスチャー



バランスの取れた姿勢で、荷重線は
アライメント基準線より後方になる
ことがあります

大腿義足のアライメント：膝継手の取扱説明書を確認して下さい

スタティックアライメント・バランスング



背屈(DF)ストップ



底屈(PF)ストップ

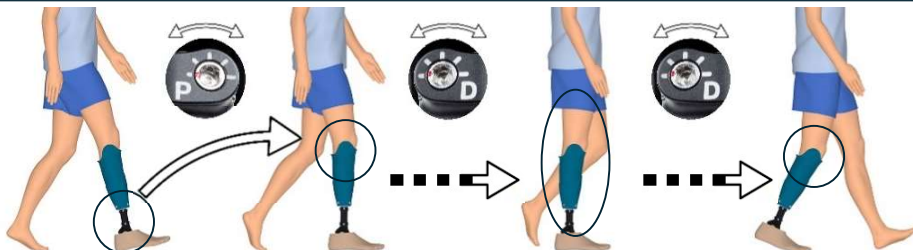
- 1 バランスのとれた姿勢であるかを観察します
 - 身体が前方へ傾いている、背屈(DF)ラインが見える
→ 足部を前方へシフト
 - 身体が後方へ傾いている、底屈(PF)ラインのみが見える
→ 足部を後方へシフト

- 2 指標線を観察し、可動域を設定します

(実線 = ニュートラル)

- 背屈(DF)の可動域を増やす → 足部を背屈させる
- 底屈(PF)の可動域を増やす → 足部を底屈させる

ダイナミックアライメント



底屈(P)バルブ → フットフラット

背屈(D)バルブ → ロールオーバー

装着者に適した底屈(P)、背屈(D)バルブを調整する

- | | | | |
|-------------------|---|-----------------------------|---|
| 底屈が早すぎる：底屈(P)バルブを | ↶ | 背屈(DF)ストップへの移行が早い：背屈(D)バルブを | ↷ |
| 踵接地が硬い：底屈(P)バルブを | ↷ | 上り坂を歩いているような感覚：背屈(D)バルブを | ↶ |

その他のヒント

- 両側または安定性を必要とする場合は、背屈(DF)ストップにあわせることを推奨します
- 油圧の動きは、膝継手の機能に影響を及ぼす可能性があります
(例：イーリングの開始、荷重をトリガーとした立脚相の制御動作など)
- 階段を降りる時の、正しい足部を置く位置に注意します (50:50)



チュートリアル動画をYouTubeでご覧いただけます